

市有施設への再生可能エネルギー等導入事業（PPA事業）の 実施事業者に係る公募型プロポーザル基本方針

1 事業の目的

桑名市は、2050年までに本市からの二酸化炭素排出実質ゼロを目指すため、令和3年3月にゼロカーボンシティ宣言を行いました。

このたび、市有施設に太陽光発電設備等を導入し、再生可能エネルギーを最大限地産地消することで、平常時には温室効果ガスの排出を抑制し、停電等の非常時（以下、「非常時」という）には指定避難所での防災用電源として活用することを目的とした、「市有施設への再生可能エネルギー等導入事業（PPA事業）」（以下「本事業」という。）を実施します。

2 プロポーザル方式採用理由

本事業は、市有施設に太陽光発電設備、蓄電池等を導入し、事業実施期間において運転・維持管理を行い、事業終了後に撤去するものです。

そのため、効率的・効果的な維持管理はもとより、再生可能エネルギーの効果的なマネジメントや非常時にも最大限活用できる電源として活用するため、民間事業者等の創造力、発想、取組み体制等の提案等により実施事業者を決定するプロポーザル方式を採用することが適切であると考えます。

3 期待される効果

本事業を実施することで期待される効果としては、民間事業者等の創造力、発想、取組み体制等の提案等により、複数の市有施設に地産の再生可能エネルギーを導入することができ、平常時には温室効果ガス排出の抑制、非常時には指定避難所での防災用電源としての活用が期待され、あわせて効率的な電力マネジメントやスケールメリットを活かした事業費の節減も期待されます。

4 事業スケジュール

- ・公募要領の発表・受付開始 1/14
- ・質問受付期間 1/14～1/26
- ・質問回答日 2/1（予定）
- ・参加表明書受付期間 1/14～2/10
- ・プロポーザル参加要請書の通知 2/16（予定）
- ・企画提案書受付期間 2/17～3/3
- ・審査実施日 3/10（予定）
- ・事業者の決定 3月中旬（予定）
- ・契約締結日 3月下旬（予定）

※ただし、国の補助金を活用される場合は、協議の上決定します。

5 審査方法

審査委員会を設置し、企画提案書の内容とプレゼンテーション等により、知見、考え方、企画力、価格等について総合的に判断し、実施事業者を決定します。